

くまのみ通信

—中谷外科病院広報誌—



第32号
2014年4月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

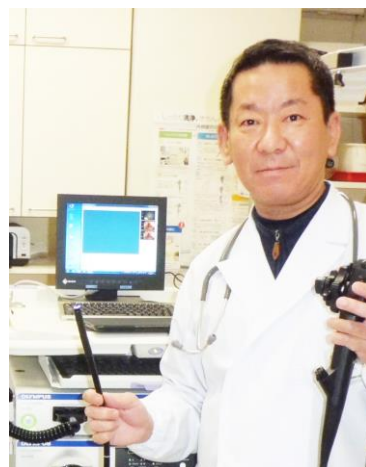
ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間
月～金 9:00～12:00
15:30～18:30
土 9:00～12:00

＜中谷外科病院 基本方針＞

- I：常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I：消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I：多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I：在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行う。
- I：職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

「安心・安全な大腸内視鏡検査のために」



当院では平成5年から現在にいたる20年間に総計約3万件の胃・大腸内視鏡検査（以下CS）を行ってきました。内視鏡室の理念に、1：安全第一、2：苦痛がないこと、3：的確な診断と治療の三項目をかけた、スタッフ一同日々精進しています。CSはハイリスクな検査です。全国統計をみても出血、穿孔、鎮静剤による呼吸抑制などCSに伴う偶発症は1万人に1人の割合で発生しており（2003～2007年：日本消化器内視鏡学会による）、これは胃内視鏡の2倍の頻度です。また偶発症は高齢者に多く起こります。高齢の患者様のCSにあたっては特に慎重さが求められます。安心・安全なCSを患者様に提供するための当院での取り組みを以下にご紹介します

1：羞恥心へ配慮し、十分な説明を行うこと。

まず患者様の立場に立ちます。老若男女を問わずお尻から診られることには抵抗があり、血便などの症状があっても、病院受診をためらいがちになるものです。私達は「清水の舞台から飛び降りる」つもりで来院された患者様の気持ちに配慮しています。いきなり検査や治療を実施するのではなく、患者様にしっかり納得していただいた上でCSを行います。CSには大腸を空っぽにするための前処置が必要ですが、美味しい検査食を準備し腸管洗浄液も900mlと出来るだけ負担の少ない量にしています。



2：専門病院として組織、個人ともにレベルアップすること。

当院は2008年9月から日本大腸肛門病学会認定施設となっています。現在、日本消化器内視鏡学会指導医1名、専門医4名、認定技師2名が各自知識・技術向上に努めながら、日々のCSに関わっています。

また職員一同が「おもてなし」の精神で、受付から外来、病棟そして帰宅されるまで一貫して患者様に対するケアを行っています。CSには苦痛のないように鎮静・鎮痛剤を使用することが多く、手術と同様な全身管理が必要です。検査中、検査後の血圧、心電図、経皮酸素濃度などを各種の機器でモニタリングしていますが、機械に頼りすぎることなく、スタッフの五感をフルに発揮して患者様の状態をしっかりと把握するように心がけています。

近年の医療技術の進歩には目を見張るものがあり、内視鏡機器も日々進化しています。

当院では今年3月に世界最先端の高性能機器（Olympus社 EVIS LUCERA ELITE）を導入しました。これからはさらに安全・安心なCSを通じて地域医療に貢献して参りますので、叱咤・激励のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26年4月吉日

中谷外科病院 院長 中谷 紳

内視鏡機器が新しくなりました。

当院で今年3月に導入された内視鏡（ELITE：エリート君）の紹介をさせていただきます。

- ① 「HQ画質」の高精細画像、ボタン一つで通常観察と近接拡大観察を切り替えるデュアルフォーカス機能、管腔の奥まで明るく映し出す進化した狭帯域光観察（NBI）、170度の広視野角などにより観察性能が大幅に向上しました。



- ② スコープが腸壁に当たると自然に曲がる「受動湾曲」機能、「高伝達挿入部」の採用により操作性、挿入性が向上しました。

そして、私たち内視鏡室の看護師にとって最も変わった事は防水キャップが不要になった事です。防水キャップ不要の構造により、機械の重要な部分を濡らすことに起因する故障の心配がなくなりました。

防水キャップ



機械が精密になるほど日々のメンテナンスや点検はより丁寧に行う必要があります。今回内視鏡洗浄機も最新のOER4を導入しました。当院で内視鏡をうける患者様により安全で安心な検査を受けて頂くため、今後も内視鏡室スタッフ一同努力していききたいと思います。

（看護師 内視鏡技師 今井 幸子）



Nakatani surgical hospital

第7回院内研究発表会（3月8日）

	部署	テーマ
1	院内感染委員会	抗菌薬の適正使用について
2	褥瘡・NST委員会	『食べる』とは・・・
3	看護部 外来	問診について
4	看護部 病棟Bチーム	申し送りの充実にむけて
5	看護部 病棟Aチーム	イレオストミー患者ケアを通してストーマケア手順の見直し
6	事務部	高額療養について ～知って得する豆知識～
7	患者サービス委員会	外来待ち時間調査の調査方法検討
8	医療安全委員会	つい書きたくなるインシデントレポート
9	看護助手	改善・・・その後
講演	診療部	安心・安全な大腸内視鏡検査



医療・看護・病院機能の質の向上を目指す目的で、毎年、各部署・各委員会でテーマを設定し業務改善に取り組んだ成果を発表する場です。今年で7年目を迎えました。

どのチームも患者様の視点に立ったテーマに向き合い、研究の成果をアピールしていました。

質の高い安全な医療・看護・サービスを提供したいと

いう思いが伝わり、時間を忘れるほど充実した発表会でした。当院の基本方針にもある「常に患者様の立場にたち行動する。」まさにこれだ！と感じました。今後の業務の円滑化やチーム医療に役立てていきたいと思います。



（事務長 中谷 富江）

《 第12回 スタッフのひとりごと 》 【相手を思いやる気持ち】

患者様には、常に、笑顔で明るく接することを心がけています。
夜勤明けの時、患者様から、満面の笑顔で「おはよう、元気！ 頑張りよんじゃな」と声をかけてくださいました。
私は、「ありがとう！ 調子どうですか？」思わず患者様とハイタッチを交わしていました。
患者様から、元気を頂くことも一杯あります。
【相手を思いやる気持ち】 それだけでも元気になりますね。
これからも、患者様にお返しができるよう今日も笑顔で頑張ります！！



（看護助手 高須賀 幸子）

・新入職員紹介・



今年3月に岡山大学病院を退職し4月から放射線技師として働かせていただくことになりました。まだ、わからないことがたくさんあり皆様にご迷惑をかけることも多いかと思いますが、早く仕事を覚えるように頑張りますのでご指導よろしくお願いいたします。

（診療放射線技師 大川 義弘）

城崎方面へ旅行に行きました！



2月15～16日、2月22～23日の二班に分かれて城崎方面へ職員旅行に行かせていただきました。

一日目はあの有名な豊岡のかばん工場へ。良質かつ低価格なかばんがずらりとならんでおり、どれもほしくなってしまうものばかりでした。その後は城崎のホテルに到着し、外湯めぐりやホテル内の温泉を堪能しました。夜は豪華な松葉ガニ！カニの味が濃厚でつついとお酒もすすんでしまいました（笑）



二日目は天橋立で股覗きを初体験。

日本三景をしっかりと目に焼き付けて帰ってきました。

幹事さん、運転手さん、そして中谷外科病院、本当にお世話になりました！これでまた職員のチームワークは高まりましたね！

私事ではございますが、今回で中谷外科病院のみなさんとの旅行が最後となってしまいました。中谷外科病院の職員の方々は本当に素晴らしい方ばかりで、毎日楽しく仕事をすることができました。この病院で学ばせていただいたことは、間違いなく次の職場でも活かせると思います。4年間本当に本当にお世話になりました。

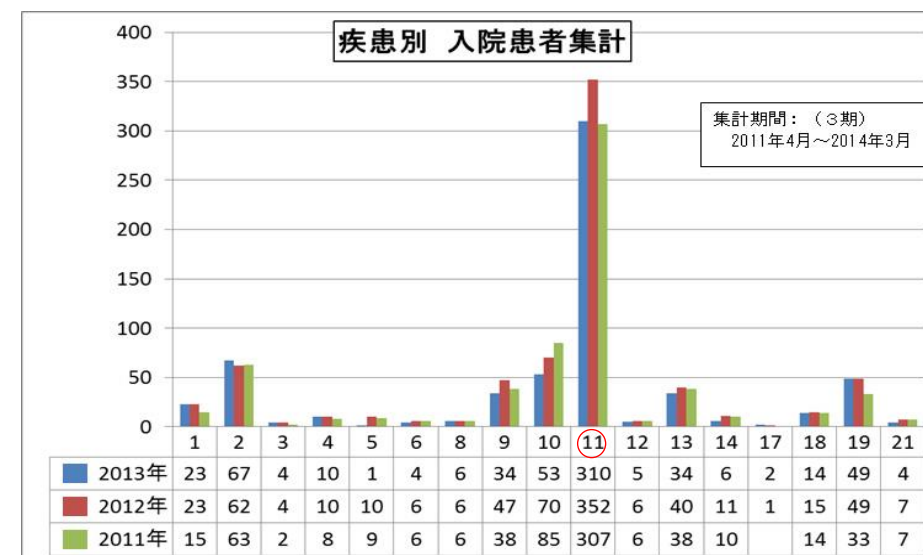
（放射線部 西田 寛規）

平成25年度 診療実績

当院の診療実績をご紹介します。

2011年4月から2014年3月の間に入院された患者様の件数を疾患別に集計してグラフにしました。当院は消化器内視鏡の専門病院として患者様とともに歩んでまいりました。グラフもそれを反映しており「消化器系の疾患」の患者様が大半を占めています。これからもスタッフ一同地域医療に貢献できるよう精進してまいります。

（事務部 伊藤 弘司）



- 1:感染症および寄生虫症
- 2:新生物
- 3:血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害
- 4:内分泌、栄養および代謝疾患
- 5:精神および行動の障害
- 6:神経系の疾患
- 8:耳および乳様突起の疾患
- 9:循環器系の疾患
- 10:呼吸器系の疾患
- 11:消化器系の疾患
- 12:皮膚および皮下組織の疾患
- 13:筋骨格系および結合組織の疾患
- 14:尿路器系の疾患
- 17:先天奇形、変形および染色体異常
- 18:症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 19:損傷、中毒およびその他の外因の影響
- 21:健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用